

「シェル・空間構造」セミナー 2014

コンクリートシェルの構造設計に関する動向と将来展望

日時：2014年10月6日（月）13:00～17:00

会場：建築会館ホール

建築 CPD 申請中

開催概要

コンクリート系のシェル構造は、ルーフシェルを始め容器やモニュメントなどへ広がりを見せている。特徴として自由度の高い形状が可能であり、近年では広い意味での“自由曲面”が実現されるに至っている。その技術的シーズとしては、実験の蓄積・解析技術の進歩・施工技術の進歩が欠かせないと言えよう。一方、想定すべき地震入力が増大や長期挙動の把握の重要性が認識され始めている。本セミナーでは、広くコンクリートシェルへの将来像を探るため、既往の技術と実例のレビュー、建築デザインと構造デザイン分野の協働の可能性と実例、現行の規準類の整理、構造技術の現状や将来展望の観点から紹介し、情報交換をする。

プログラム・講師

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 1) 空間構造におけるコンクリートシェルの役割と変遷 | 川口 衛 |
| 2) 建築デザインから見たコンクリートシェルへの期待 | 西沢 立衛 |
| 3) 構造デザインから見たコンクリートシェルの可能性と実例 | 佐々木 睦朗 |
| 4) コンクリートシェルの構造設計基準・指針について | 高山 誠・原 隆 |
| 5) RCシェルの構造設計に関連する技術開発の現状・課題・展望 | 加藤 史郎・武藤 厚 |

(一部講演者、及び順番変更可能性あり)

参加費：①会員 4,000円 (資料代含む)
②会員外 5,000円 (資料代含む)
③学生 2,000円 (資料代含む)

申込方法：下記 Web サイトよりお申込みください
(締め切り：9月30日(火))

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=874>

(日本建築学会ホームページ、催し物・公募から本セミナーを選択)

問合せ先：日本建築学会 事務局 研究事業グループ 中村

E-mail: nakamura@aij.or.jp

Tel: (03)-3456-2057

Fax: (03)-3456-2058